

胎内シネマパラダイス

— 令和 8 年度 優秀映画鑑賞推進事業 —

「名作映画上映会」

独自の映像美学で世界中に熱狂的なファンを生んだ鈴木清順^{せいじゆん}の作品を紹介。

上映予定時間

※ 各回 30 分前開場

8 月 28 日(金)

8 月 29 日(土)

① 悪太郎 10:30 ~ 12:05

② 東京流れ者 13:30 ~ 14:52

① 東京流れ者 10:30 ~ 11:52

② 悪太郎 13:30 ~ 15:05



あくたろう
「悪太郎」 1963 年 日活 / 95 分 / 鈴木清順 監督
【出演】山内賢^{けん}、和泉雅子^{いずみまさこ}、田代みどり^{たしろ} ほか

今東光の自伝的な同名小説が原作。悪太郎と異名をつけられるほどの素行不良学生・紺野東吾は、新たに受け入れられた兵庫県豊岡の中学校でも気ままに振舞い、喧嘩に恋に青春を謳歌するが、突如として厳しい現実を突きつけられる…。大正浪漫三部作など奇抜な映像表現で知られる鈴木清順監督だが、本作では同じく大正時代を背景にしつつ、山内賢演じる東吾の豪放磊落^{ごうほうらいらく}さと、初々しい恋心を清々しく情緒豊かに描いている。東吾が思いを寄せる女性・恵美子を演じるのは和泉雅子。

「東京流れ者」 1966 年 日活 / 82 分 / 鈴木清順 監督
【出演】渡哲也^{わたりてつや}、松原智恵子^{ちえこ}、川地民夫^{たみお} ほか

やくざ稼業から足を洗って恋人と結婚する決意をしていた青年が、敵対するヤクザに狙われ各地を転々とするが、ついに堪忍袋の緒が切れる…。前年にレコード発売された「東京流れ者」の作詞を手がけた川内康範が、原作と脚本を担当した歌謡アクション映画。渡世の義理から離れようと旅に生きる主人公を渡哲也が演じ、粹で武骨な“不死鳥の哲”を魅力的に体現した。ドラマの流れよりもシーンごとの色使いや様式性に重きを置いた大胆な鈴木清順監督の演出と美学が遺憾なく発揮され、海外での人気も高い代表作の一本となった。



● 入場料：500 円（2 日間通し券、全席自由）※ 8 月 4 日(火)から販売開始

● 取扱所：胎内市産業文化会館

● 会場：胎内市産業文化会館 多目的ホール

● 問合せ：胎内市産業文化会館 ☎ 0254・43・6400

● 主催：胎内市教育委員会 / 国立映画アーカイブ

● 特別協力：文化庁 / (一社)日本映画製作者連盟 / 全国興行生活衛生同業組合連合会 / 松竹(株) / 東宝(株) / 東映(株) / (株) KADOKAWA

